

青山
御流

活花手引種前篇三



5 Feb 74

9 of 1000 missing bottles
1957

Chicago Public Library
2002

*3331

SS5563

v. 3

DE-ACID 2004

05-0106

三之卷凡例

○此卷専秋を其種類をもつて次第をなす次を以て
花状に模様を随て例となせし新添のものを

○此冊末のてはなを以て得る体状を顯しを以てなす
さるる圖に除き品種をあつて是と補ふは花形は是
れと増減の趣意とも如く此宜前卷の例と雖して察考
ありし尚其終に於て即興の体と水庭にあり
りし影夫の上に床棚附書院卓等其圖と物菴の會の
略飾と僅に一二具を記し猶委に別し傳意あり

左の車に、
おどく、
但し



檜扇 トアラキ

射于ナリ
鳥扇 トモ
鳳翼 トモ
仙人掌 トモ

おく斜西の席とてけ陰陽の
おもむきと坐とて専要なり



ひあふた

園花としてひあふたは根茎がし
まじく練したものはなりきり
あつたふくもあつたにきり
糸斗のちりり

かみり

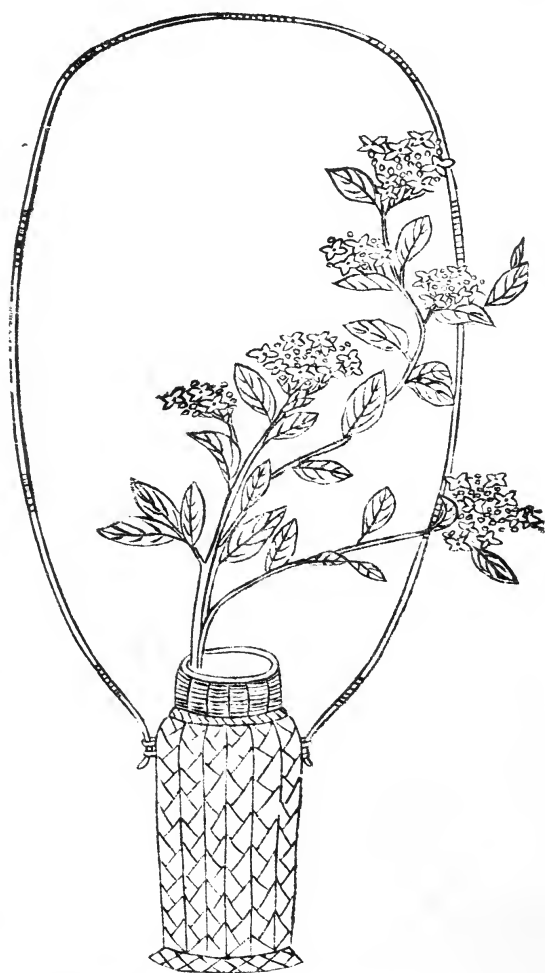


すくみまうなり
茎とあつた
左の圖として

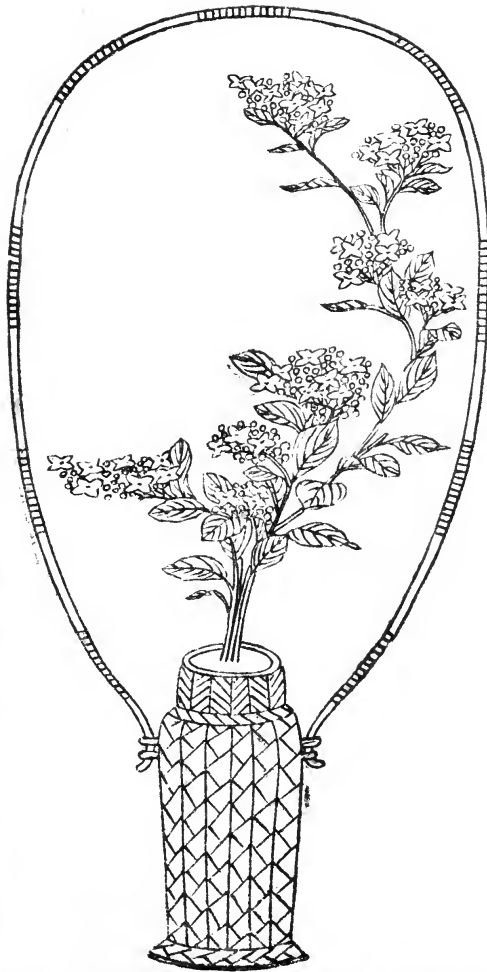
A black and white line drawing of a potted plant. The plant has a central stem with several long, narrow, lanceolate leaves. There are three main branches: one extending upwards with small, star-shaped flowers and buds; one extending to the left with similar flowers; and one extending to the right with buds. The plant is in a decorative pot with a wide, flared rim. The body of the pot features a band of stylized, swirling patterns. The pot sits on a simple rectangular base.



かく枝のとりきえ形く上りてあつてさ
 びきりハナリしはけりあつてさ
 ちきりさつて入れし花の園をさ



額草 スウ サウ
めうめいちん

[illegible]

中つて棲習ふ八柄別産の使ぢあまはとく
 是れ其正しきものなり

長く大葉ハ除く
 是れのこと專ら

中つて



風情

中つて

次

如斯大葉のとていって小葉の〜と主
 とり〜とて約すにきくし



ヤツテ
 八手

魚ニ寝ハ毒ヲ生ト

砥トク草サ

木賊ナリ

とてあのこころ余り
風情なり御まの趣と
とて採採あるあり



玉の指をさすは
 心もさす
 心と玉の指

キハナス
薺

ムクゲ
槿花ナリ
藩離艸ト云



二瓶
~~~~~



入



水葵 ミヅアオイ

浮葉ナリ

水葱トモ

雨久花

ミヅアオイ



水葵の葉は心形の葉である  
 別名ミヅアオイの葉は心形の葉である  
 押してあざいなる葉である  
 半りもあざい葉のくさるひ  
 水葵の葉は心形の葉である

子体ミヅアオイ

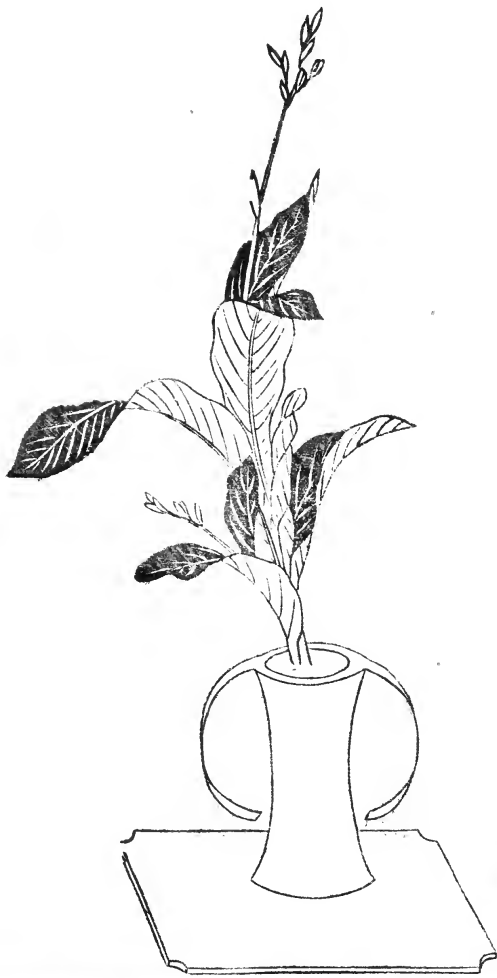
此きんぐ梢と脚きんぐを茶と随一のきんぐ  
 まくく大さの茶の梢の茶のきんぐをきんぐと  
 きんぐをきんぐとまきんぐをきんぐと二きんぐと  
 同きんぐ茶とてきんぐ下は二本も左きんぐ



きんぐ茶とて  
 きんぐ茶とて  
 きんぐ茶とて



檀<sup>タン</sup>特<sup>トク</sup>草<sup>サウ</sup>



如此<sup>スニ</sup>坐<sup>ザ</sup>

芭蕉<sup>ハク</sup>とんちん<sup>ン</sup>とれ<sup>レ</sup>の意<sup>イ</sup>

推<sup>ス</sup>魚<sup>イサ</sup>

せんのみをてしこ石竹の花はるゝに格別と外きい  
 水際なるもあく一本つゝあまゝとあつゝあく小菊を  
 乃て二本も三本もあつゝあまゝとあつゝあく  
 せんのみをてしあく左にあつゝあまゝとあつゝあく



あきふしをうけてふしに  
 花をうけてふしに



センノウ  
 仙翁花

前カ秋羅ナリ  
 前カ紗荅トモ

檜松 杜若

三春柳上

とていふこと



とていふこと 曲りて風情  
 杉のろくろくも杜若のそとありあり  
 上巧とていふこと 下はさきも旧にありあり 金もすて同意

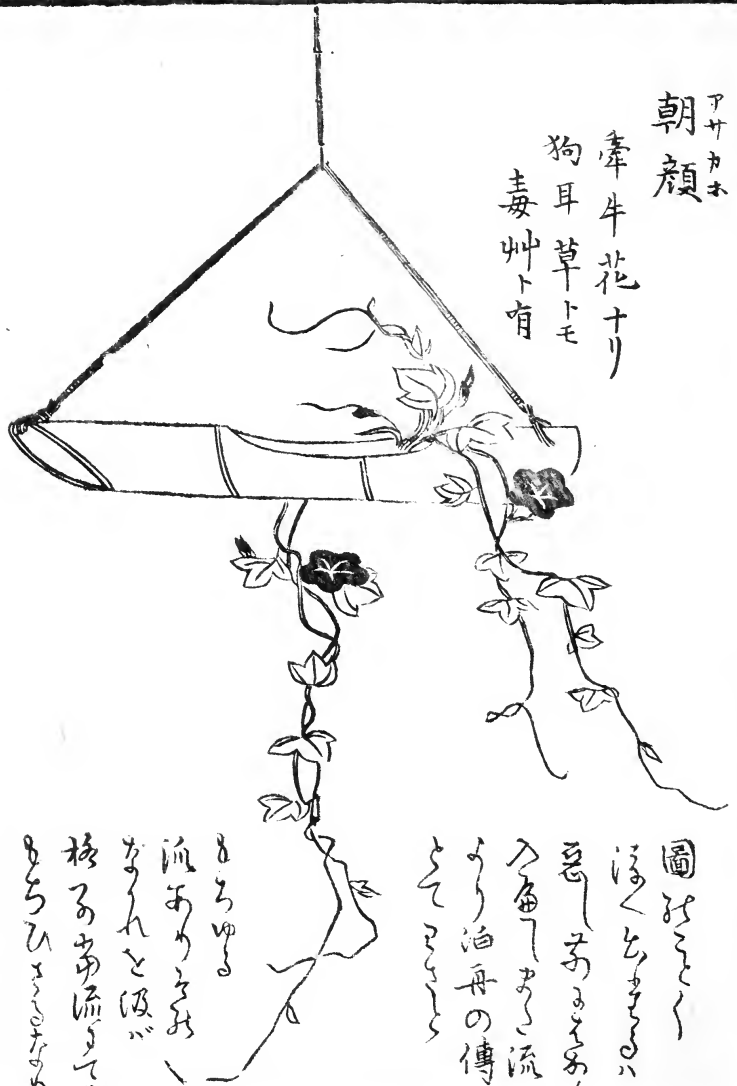
右の曲なる枝もさうしてさうの梢もかろい枝もさう  
 さうの梢もさうしてさうの梢もさうしてさう

杜若もあつてほれ  
 花もあつてほれ



アサカホ  
朝顔

牽牛花ナリ  
狗耳草トモ  
毒艸ト有



圖

ふくとうきん

吾一そのまあり

八番しき流

う泊舟の傳

とて

とらゆ

流ありき

なれと汲

核るあ流

もらひ



十一



1



ウミナヘシ  
女郎花

敗將酉ナリ

女落芝<sub>正</sub>



かくんどのをきりてさへ  
まゝやけりてさへさへ上下  
よくつゆりてきりて  
水落の除く月工ほく出候も  
之れ同きなり

去々んそほくしゆはくそくの  
 時よりあつぬるる食すこれ陰陽と  
 分けて株をたふさくことし次々々々々



紫<sup>ニ</sup>苑<sup>ヲシ</sup>

三ノロ  
おののこ



如此陽葉をて茎を抱へく入る  
糸作夏にさるる

圖のこゝろより、此葉あり方、かゝるまゝえさるなれど  
 是れ、水たぎるも、きりぎりす、さしよと、あひ耳  
 め、吹雪、やとひ、さして、蘆花、咲き、なつて  
 きりぎり、あひ、さかし、なつて  
 へき、さし、左の、あつ、と、さし



水  
 あ  
 へ  
 へ

あゝのさゝりあゝ  
 ほととぎすき  
 根も茎葉のさゝり通して  
 えゝゝゝゝゝゝゝ

アセ  
 酸

蘆也 華也

アマ子クサ



このおかしなさゝりき、唐さゝり  
 のおとも同さゝり

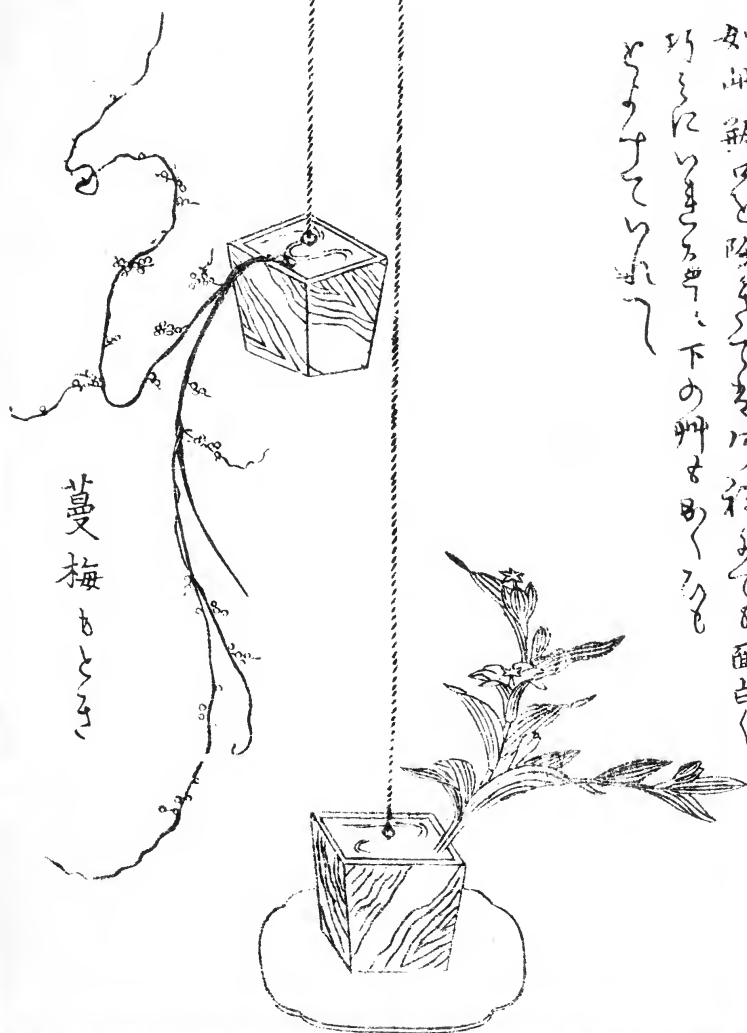
如斯ハ其稜屈曲して花も  
一色に様々なりとも友が  
ミおつてナリ。瓶口ふまひ  
をめぐりて居しよ。下の瓶の  
くも。お先もて不  
く障りて。おあ。次とん



オト、ナスガウ  
杜鵑草

山を渡る

如此則又陰々々々何程あり。面白く  
巧みにやうな草。下の州もある。



蔓梅 もとろし

大葉那もむねめく後あまのゆゑハある勢ひ悪し  
 友草もあてなめりとも平まきしすゝ物なりあふたひ  
 な〜ハあまもむねめくすゝ路の〜もむねめく  
 尚左の園と〜





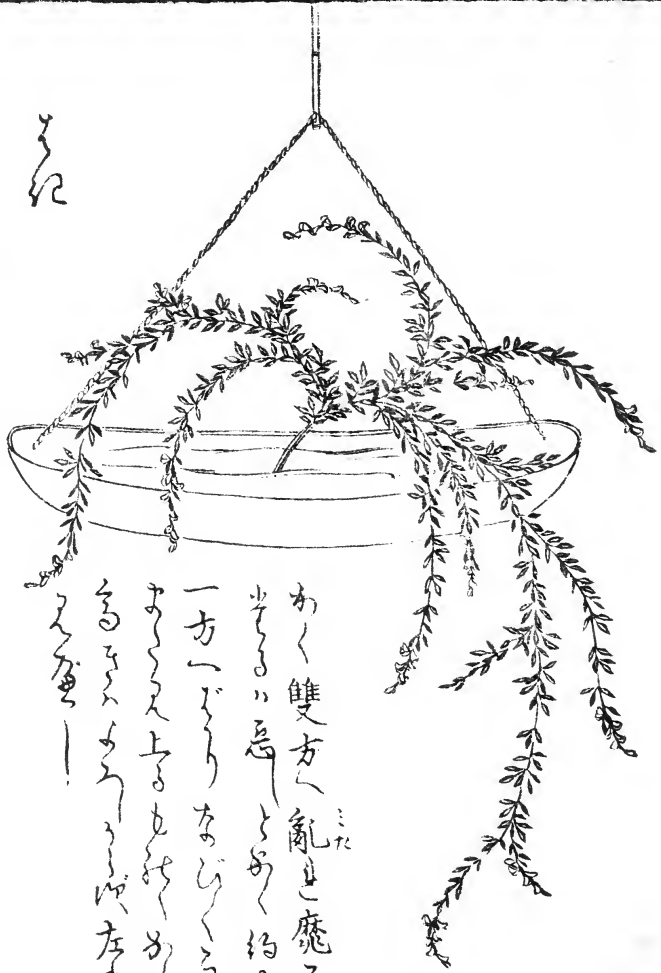
秋海棠 シラカイトウ

断腸花  
トモ  
瓔珞草



あゝ水路の枝を引ま  
器の口と杉はらうと  
茎も一方ハ秋海棠の枝とふく  
打ちあひけてみる  
も秋もつづれも同じをみ

し  
ね



わく雙方に亂<sup>みだ</sup>れ魔<sup>ま</sup>を  
 せしむる忌<sup>い</sup>とあ<sup>ま</sup>く結<sup>むす</sup>むに  
 一方へづりな<sup>な</sup>じく<sup>く</sup>う<sup>う</sup>ず  
 ありえん上も<sup>も</sup>れ<sup>れ</sup>か<sup>か</sup>く水際  
 ありえん<sup>ん</sup>う<sup>う</sup>づ<sup>づ</sup>左の圖と  
 えん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>！

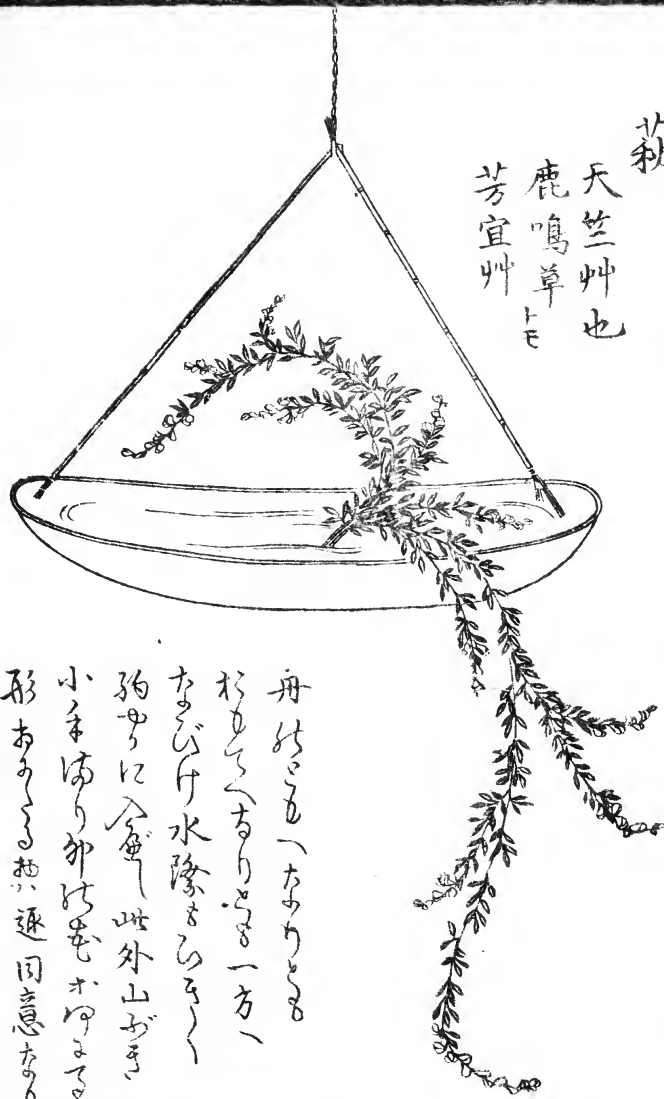
萩 ハキ

天竺艸也

鹿鳴草

トモ

芳宜艸



舟形とも一ちありとも  
 杉ともありとも一方一  
 ちもびけ水際もろろく  
 狗やに金一此外山ぶき  
 小年ゆり卯はもホヤまで  
 形あもる熱趣同意あり

あゝ大輪をふくむてゆれ秋の情薄  
下はえをて除き一方をほけ菊をふく  
けりて歩みぬ此のまゝとてふ



梅嫌 ムスビ

梅實 トモ  
字不祥



かく大ていよ遣るー但、梅もどるハ  
 我を悉くともぞれハ、あまもはねる  
 りてふり 移るれー

あゝ枝くサ

ひゞけてハ丸情渡し一本なりて  
小菊と添へるなり  
いられ枝が梢をさけ左へ物をも二枝枝と  
添へる中元は添へ一方を引きあへ種ありてひゞけて却て主味深き

金一、次は圖とて



山梅ヤマブキ花

茶梅チャバイトモ  
海紅カイコトモ



あゝのこゝろともおと下の梢をさぐりおと添く遣へ  
却て屈伸の間に花情深しおと椿沙羅樹木僅か  
と失くして荅梨たつちも物ハあ世意とふくして入る



是等の器ハ各々對々推ち入れ  
寒牡丹なりとか、葉薄き莖とあるは、  
急し急氣のなるをあらわす、  
次の圖をみる



[illegible]

寒<sup>カン</sup>  
杜<sup>ホ</sup>  
丹<sup>タン</sup>

冬杜丹

右春牡丹十人巧を如く  
多々咲くこと



小菊水露ハク  
 漆ノヤミルニモ  
 梨ノミヨクハ  
 枝ノ前カクニモ  
 風情淡



小菊  
 折葉  
 花  
 枝

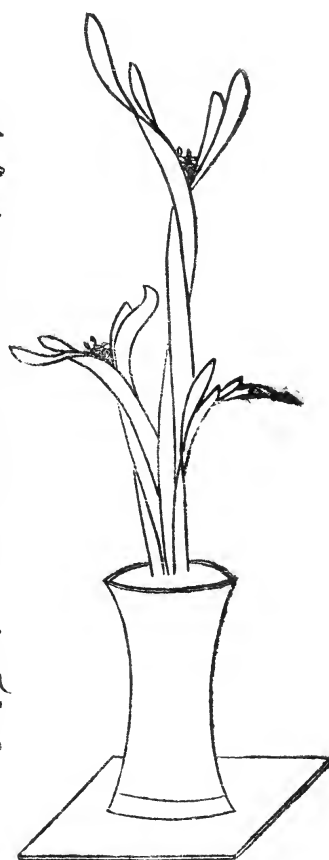
小菊  
 花  
 枝

枇<sup>ヒ</sup>  
 杷<sup>ワ</sup>  
 小  
 菊



上下ともにあつたて  
 入るしそけり所己朴木猶  
 々々外州までさかたふるまは  
 々々なる

水仙

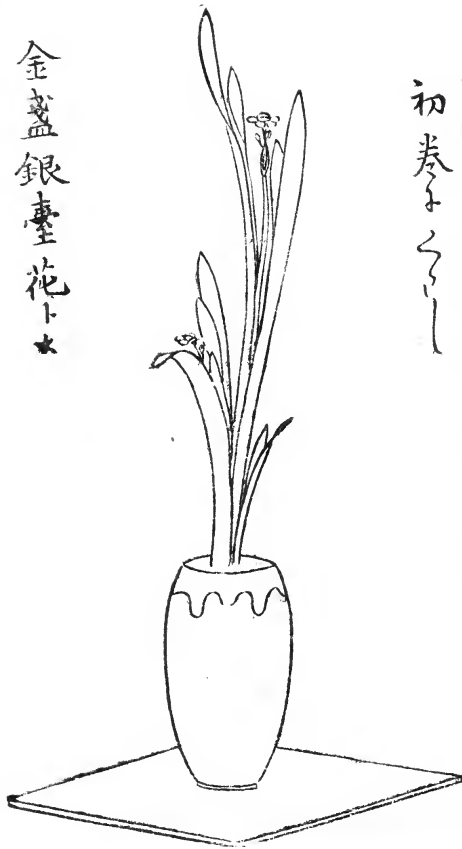


水仙草のそとにききこいふれども  
 わたしはこれこそよつとあきまへ  
 意 蒼も余りもくくみくゆふびの趣と  
 うなふゆの国とく

あつねいふれきうたに花紫い  
 ゆうきひきききききききき  
 初春ふくし

水仙 金盞銀臺花ト水

黄玉花  
 五葉花  
 小毛



あゝゝゝ風情  
何程おもひま

みんてゝゝゝ  
餘情なり  
次のきゝゝゝ



水仙花  
仙骨トモ



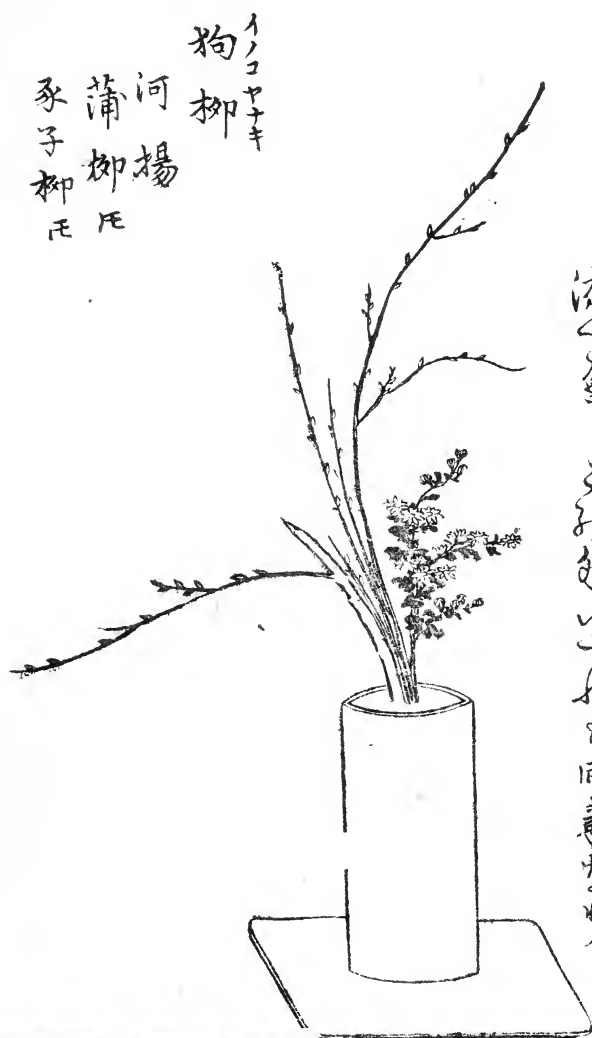
かゝるまゝに好むと  
うゝと好むと解法  
あり

いのち柳ぞ 據はるゝも 花よりゆき梢と  
 雪のうさで 約やに 生るゝも 流るゝを せ  
 枝よりあゝ小菊 どのて 挿し 次々々々々





圖に水際の大枝と  
 毛のしるしをのりておかし  
 添へてしるしをのりておかし



イノコヤナキ  
 狗柳

河楊  
 蒲柳氏  
 承子柳氏

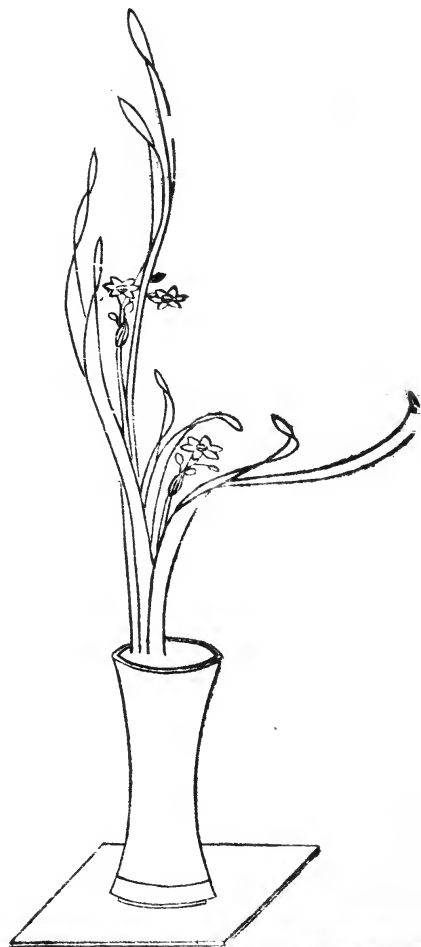


如斯ひさしく水仙の花も  
一方と世は一方とまゝきふし

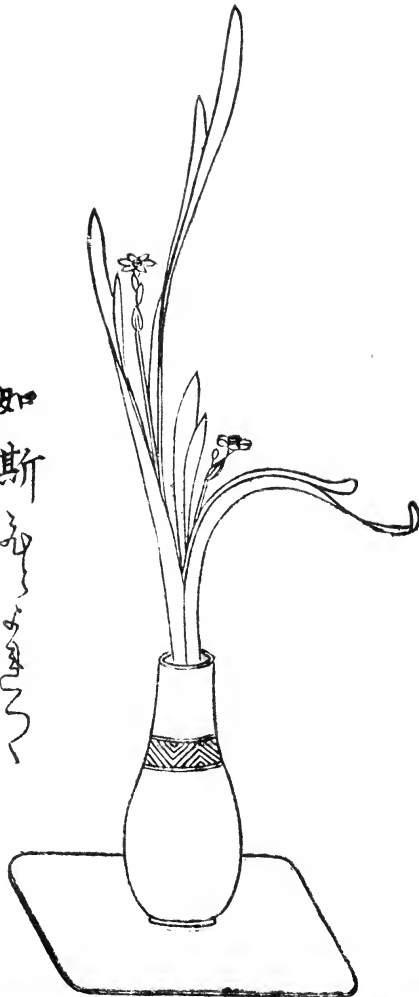


南天燭  
南天竹  
蘭天竹トモ  
凡八名有

水仙の葉曲あるもほろりたるを  
 こころあふは結しつれそ花はなほ  
 まるき一箇の園とてふ



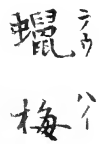
水僊 スイセン



如斯

曲あ

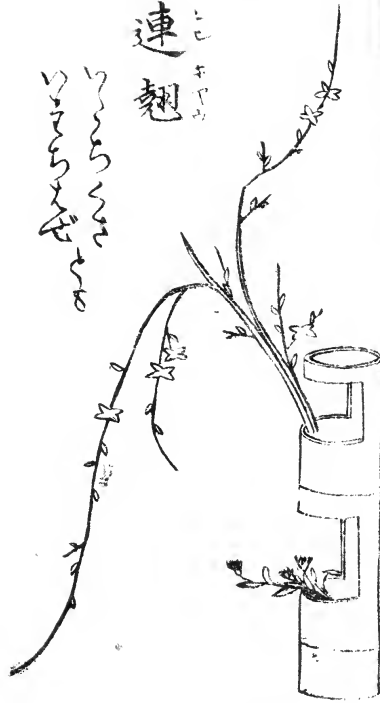
此蠟梅より以下ハ多く束一得たる種而已と圖一類也  
ゆへに四季の順もいふ所なく花形の大小は随て二瓶  
も三瓶も寄せて風流ととり合はるるものなりと浮  
は昂興の趣答とあふ状は探繪ありし棚附書院  
に趣といふところ圖一とあるなり



寒梅  
黃梅

連翹 とこぢりみ

ワタラシキ  
ワタラシキ  
ワタラシキ



まんせん  
別名眞子毒

陸叟 ニワトモ

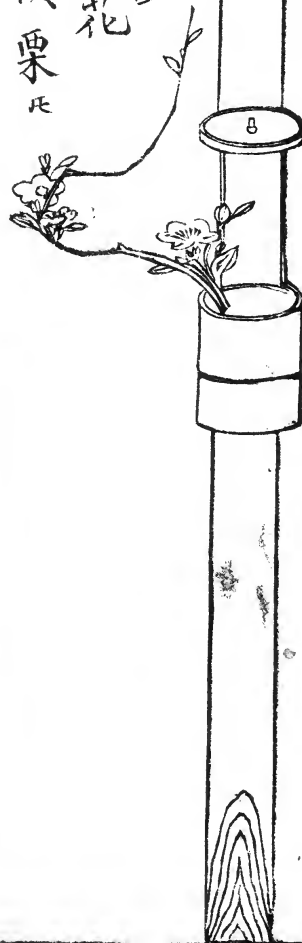
接骨木 凡



蒲公荑 タチホウ

あちち  
ふらふら  
ふらふら

梨<sup>ナ</sup>花<sup>ハ</sup>  
快<sup>ク</sup>栗<sup>リ</sup>  
氏



櫻<sup>サ</sup>草<sup>ク</sup>  
ラサツ





出や久

紫羅襪花

溪蓀氏



大季氏

繡繡氏

雪繡花氏



たつむえ



藤天蓼  
ふたに

アサミ  
花

あやめ草



夏椿 ナツノハナキ

沙羅雙叉樹

堅固樹 ツ

撫子 ナデシコ  
とこ方つゝ

瞿麥 洛陽花

石竹 南天竺 草



雞頭花 イナダナ

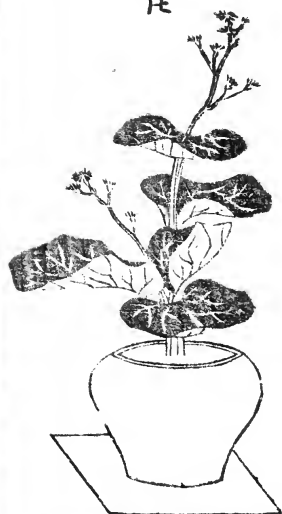
とくろ草 トクログサ

雞冠花 イナダナ



つは山 ツハヤマ

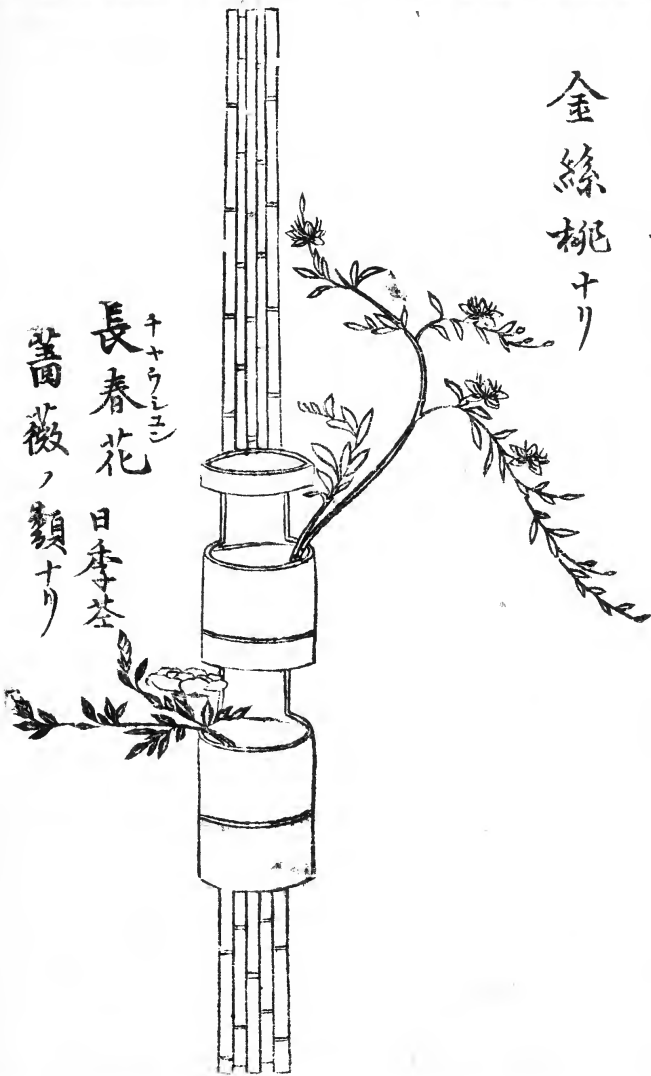
素吾杜衡 ソゴトコウ



金絲桃ナリ

花よりやなまゝ 美容柳

千ヤウシニ  
長春花  
日季荃  
紫蘭ノ類ナリ



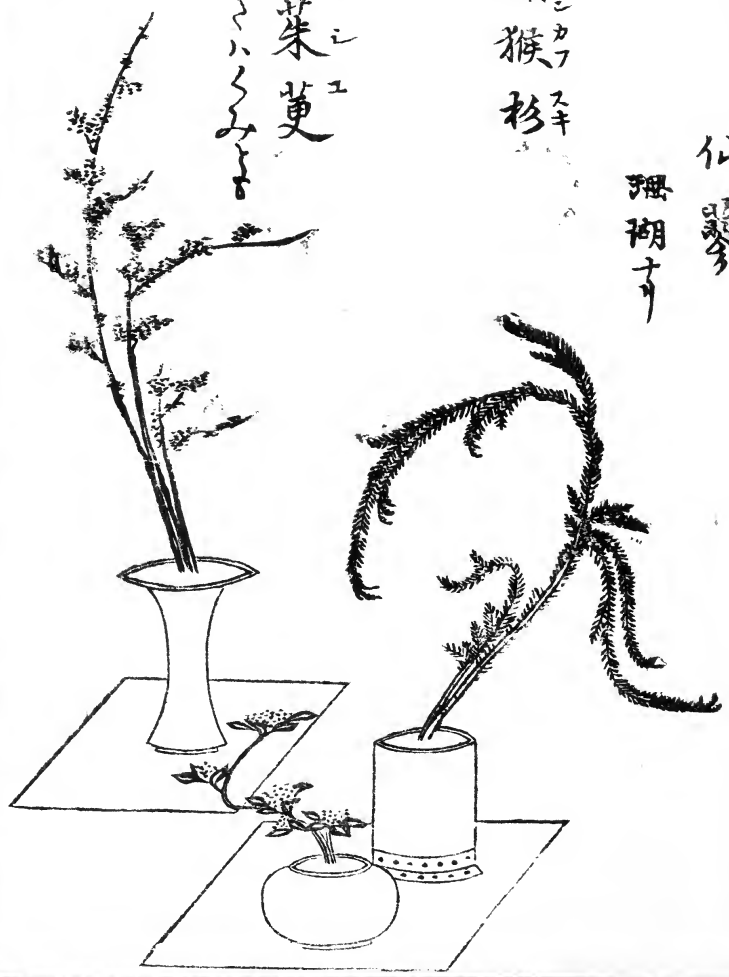
仙セニヤ題ト

珊瑚サンゴ

猿エニカ猴フ杉スギ

山サン菜シ萇ユ

ハクミ





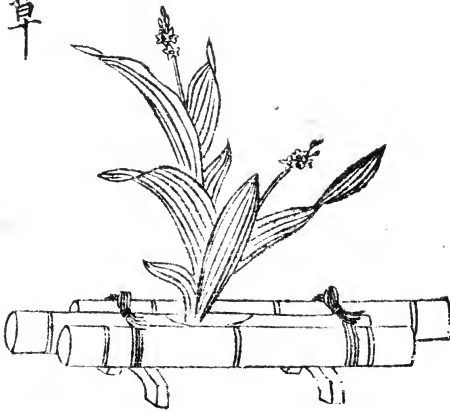
鳥兜トリフ 毒草ナリ

鳥頭ナリ 雙鸞菊 凡

海老根草エノネ

他偷草ナリ

鈴振草 凡



鴨跖草也

碧蟬花

つやなみ

水引草

海根ナリ

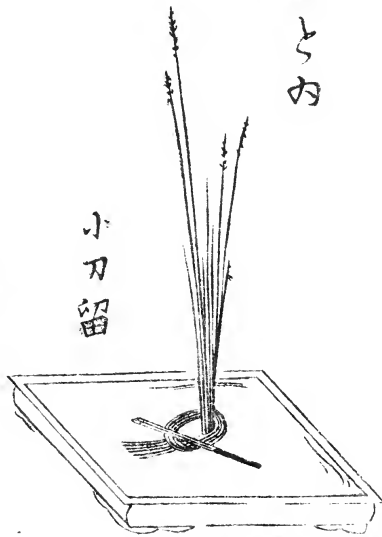




ふと内

かく平瓶に挿す花も出まかき時はいとものけしきも茎葉のやう  
うき物園のうきもの法に小柄なけしきも外に結ひたてて入る  
又木艸の若葉のうき物に下は園のうき根とて入るもの割りておとと金  
座無つゝ活きの半定とせしむる  
は外におたてし花とて口へぬりて  
平瓶にお入るもの者やとせし  
見まよと  
おひの  
奥の

小刀留



くま

壓留

と由な次

玖現花也

薔薇ノ一種ナリ



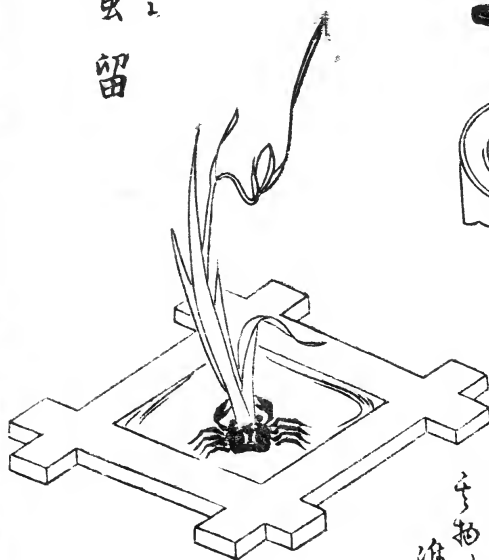
岡河骨 とうがくちんこ

鎖留 くわいりゅう



牡若

解虫留 かいちゅうりゅう



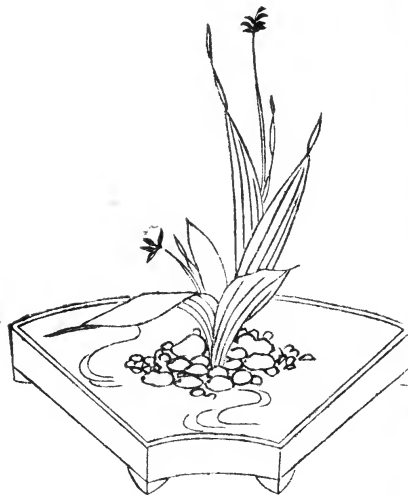
岡のやく根とくわいりゅう  
 いふも中いふもく  
 けいぶつ物をいふ  
 解虫といふめあてか  
 し布又草とそふみ  
 けいぶつ物  
 けいぶつ物

然ハ蘭<sup>コウラン</sup>

白及草

連及トモ

# 水仙



砂利と云ハ小砂利  
と云くわめて其根  
をくみぬ  
右と云ハ其根を  
中石と云つたものを  
と押さぬ

鉢留<sup>ハチドメ</sup>と云ハ  
其根をくみぬ



菊 キク

あきくさ  
あきくさ  
あきくさ  
あきくさ  
あきくさ



軸前の花

あきくさ

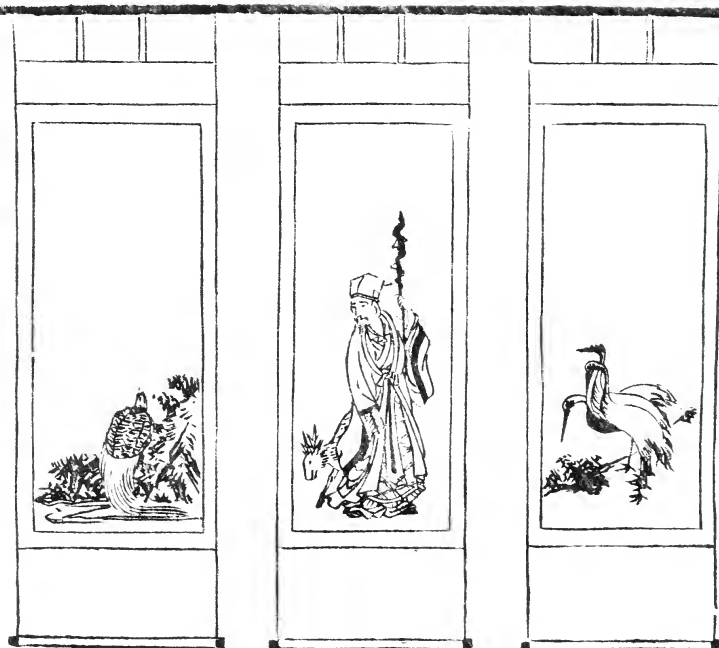
芭蕉<sup>ハシヤウ</sup>

甘蕉<sup>カンキョウ</sup> 花

俳句とんけさ



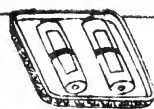
繪前の  
花形  
ふ得有



卓下花  
心得有



カラマツサウ  
紅黄草  
藤菊トモ



モクレン  
木蓮花  
木蘭花

ナカノ井  
三角藿  
江坐ナリ  
七島氏

